



平成 25 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社池田泉州ホールディングス
代表者名 取締役社長 藤田 博久
(コード番号 8 7 1 4 東証・大証第 1 部)
問合せ先 取締役企画部長 鶴川 淳
(TEL. 0 6 - 4 8 0 2 - 0 0 1 3)

事業再生支援機能強化を目的とした
オリックス株式会社及び株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ
との業務提携に関するお知らせ

株式会社池田泉州ホールディングス（取締役社長 藤田博久）の子会社である株式会社池田泉州銀行（本店：大阪府大阪市北区茶屋町 1 8 番 1 4 号、取締役頭取 藤田博久、以下「子銀行」という。）は、本日、オリックス株式会社（代表執行役 井上亮、以下「オリックス」という。）及び株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ（代表取締役 佐藤雅典、以下「ジェイ・ウィル・パートナーズ」という。）との間で、以下のとおり、事業再生支援機能強化に関する業務提携を行うことについて合意し、①子銀行、オリックス、及び子銀行の子会社であるエス・アイ・ティー・ピー準備株式会社（以下「SITP」という。）、並びに、②子銀行、ジェイ・ウィル・パートナーズ、合同会社ジェイ・エフ・エイチ（株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズが管理・運営する会社、以下「ジェイ・エフ・エイチ」という。）、及び子銀行の子会社であるエス・アイ・シー・ピー準備株式会社（以下「SICP」という。）との間の業務提携契約書を、それぞれ、締結致しましたので、お知らせします。

記

1. 業務提携の理由

当社及び子銀行は、何よりも「地域のため、地域の皆さまのお役に立ちたい」との理念のもと、「地域密着型金融」への取組みを経営計画の根幹に位置付け、

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

等に積極的に取り組んで参りました。

また、地元の取引先への円滑な資金供給は勿論、経営改善支援や企業再生支援の実施等を通じてコンサルティング機能を発揮することが、地域金融機関として最も重要な責務の一つであるとの認識のもと、平成 24 年 6 月には、取引先の経営改善を支援する機能をより一層強化するとともに、中小企業円滑化法の終了に向けた対応を更に強化するため、「ソリューション支援室」を新設し、金融円滑化法対象先とその他支援の必要な先を一体で支援できる体制を構築する等の態勢整備を行いました。

また、こうした取組に加えて、平成 24 年 4 月 20 日に公表された「中小企業金融円滑化法の最終延長を踏まえた中小企業の経営支援のための政策パッケージ」の趣旨を踏まえ、中小企業の事業再生・業種転換等の支援の実効性を高めるための施策の具体化も進めて参りました。

今般、その一環として、事業再生支援において実績のある外部機関との緊密な連携のもと、別会社を設立し、これら外部機関のノウハウを最大限活かしつつ集中的に事業再生支援を行うことが、非常に有効な手段であると判断し、事業再生支援において多くの実績を有するオリックス及びジェ

イ・ウィル・パートナーズと業務提携を行うことと致しました。

両社とはそれぞれ、これまでの事業再生支援において具体的な実績をあげてこられた分野を中心に提携し、支援の実効性を最大限高めて参ります。

2. 業務提携の内容、合弁会社の概要等

(1) 業務提携の内容

関係当局による認可を前提に、子銀行のソリューション支援室が所管する業務のうち、業務提携先であるオリックス及びジェイ・ウィル・パートナーズが、それぞれの強みを最大限発揮できるポートフォリオ毎に、会社分割を通じて、SITP 及び SICP に業務を移管した上で、オリックスが SITP に対して 40 億円、ジェイ・エフ・エイチが SICP に対して 40 億円の優先株式による出資を行うとともに、両社を通じて人材の派遣及び事業再生支援ノウハウ等の提供が各社に行われる予定です。

SITP 及び SICP は、子銀行がこれまで培ってきたノウハウに加え、オリックス及びジェイ・ウィル・パートナーズのノウハウやネットワークを最大限に活用し、より実効性の高い事業再生支援に取り組み、成果に繋げて参ります。

(2) 合弁会社の商号について

商号については、子会社の株主総会決議を経て、SITP は池田泉州ターンアラウンド・パートナーズ株式会社、SICP は池田泉州コーポレート・パートナーズ株式会社に変更する予定です。

(3) 合弁会社の概要

① エス・アイ・ティー・ピー準備株式会社の概要

(1) 名 称	エス・アイ・ティー・ピー準備株式会社
(2) 所 在 地	大阪府大阪市北区豊崎 3 丁目 2 番 1 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 大塚 篤史
(4) 事 業 内 容	事業再生支援等金融関連業務
(5) 資 本 金	25 百万円
(6) 設 立 年 月 日	平成 25 年 1 月 4 日
(7) 決 算 期	毎年 3 月末
(8) 純 資 産	50 百万円
(9) 総 資 産	50 百万円
(10) 出 資 比 率	普通株式 株式会社池田泉州銀行 100%

(注) 設立日現在の概要を記載しております。なお、今回の業務提携にともない、オリックス株式会社が上記合弁会社に対して優先株式による出資を行うことを予定しております。

② エス・アイ・シー・ピー準備株式会社の概要

(1) 名 称	エス・アイ・シー・ピー準備株式会社
(2) 所 在 地	大阪府大阪市北区豊崎 3 丁目 2 番 1 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 大塚 篤史
(4) 事 業 内 容	事業再生支援等金融関連業務
(5) 資 本 金	25 百万円
(6) 設 立 年 月 日	平成 25 年 1 月 4 日
(7) 決 算 期	毎年 3 月末
(8) 純 資 産	50 百万円
(9) 総 資 産	50 百万円
(10) 出 資 比 率	普通株式 株式会社池田泉州銀行 100%

(注) 設立日現在の概要を記載しております。なお、今回の業務提携にともない、合同会社ジェイ・エフ・エイチ（株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズが管理・運営する会社）が上記合弁会社対

して優先株式による出資を行うことを予定しております。

3. 業務提携の相手先の概要

① オリックス株式会社の概要

(1) 名 称	オリックス株式会社			
(2) 所 在 地	東京都港区芝4丁目1番23号 三田 NNビル			
(3) 代表者の役職・氏名	取締役 兼 代表執行役社長・グループ C00 井上 亮			
(4) 事 業 内 容	多角的金融サービス業			
(5) 資 本 金	144,026 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	昭和 39 年 4 月 17 日			
(7) 大株主及び持株比率	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）12.10% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）10.29% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口 9）4.40%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	なし		
	人 的 関 係	なし		
	取 引 関 係	なし		
	関連当事者への該当状況	該当状況なし		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	平成 22 年 3 月期	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期
連 結 純 資 産		1,298,684 百万円	1,319,341 百万円	1,396,137 百万円
連 結 総 資 産		7,739,800 百万円	8,581,582 百万円	8,354,874 百万円
1 株当たり連結純資産		12,082.56 円	12,273.11 円	12,984.69 円
連 結 売 上 高		932,841 百万円	970,110 百万円	972,884 百万円
連 結 営 業 利 益		29,571 百万円	73,960 百万円	125,195 百万円
連 結 経 常 利 益		55,608 百万円	91,965 百万円	130,484 百万円
連 結 当 期 純 利 益		37,757 百万円	67,275 百万円	86,150 百万円
1 株 当 た り 連 結 当 期 純 利 益		370 円 52 銭	625 円 88 銭	801 円 33 銭
1 株 当 た り 配 当 金		75 円	80 円	90 円

(注)オリックスは米国会計基準のため、経常利益の項目には税引前当期純利益を記載。また、純資産、当期純利益、1株あたり情報はそれぞれオリックス株主に帰属する金額を記載。

② 株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズの概要

(1) 名 称	株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ		
(2) 所 在 地	東京都千代田区有楽町1丁目7番1号有楽町電気ビルディング北館15階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 佐藤 雅典		
(4) 事 業 内 容	投資ファンドの運営管理		
(5) 資 本 金	270 百万円		
(6) 設 立 年 月 日	平成 15 年 4 月 21 日		
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	なし	
	人 的 関 係	なし	
	取 引 関 係	なし	
	関連当事者への該当状況	該当状況なし	

4. 日程 (SITP 及び SICP に共通)

(1) 子銀行取締役会	平成 25 年 1 月 30 日
(2) 業務提携契約締結	平成 25 年 1 月 30 日
(3) 事業開始日	平成 25 年 3 月 27 日 (予定)

5. 今後の見通し

子銀行とオリックス及びジェイ・ウィル・パートナーズは今後、SITP 及び SICP の事業開始に向けて協議を行ってまいります。なお、オリックス及びジェイ・ウィル・パートナーズとの業務提携が当期業績に与える影響は、軽微なものを見込んでおります。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (平成 24 年 11 月 9 日公表分) 及び前期連結実績

(単位: 百万円)

	連結経常収益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成 25 年 3 月期)	110,000	10,000	8,500
前期連結実績 (平成 24 年 3 月期)	115,952	10,905	3,810